



天童東ロータリークラブ

奉仕の理念と楽しみを繋げる組織を創ろう

RI第2800地区 第3ブロック・認定加群日 1985年4月11日
承認番号No1653 例会日・毎週水曜日12:30~13:30 例会場・天童ホテル



会長 武山 茂
職業 化粧品販売

2012-2013年度地区目標
ロータリーの理念を思い起こそう
奉仕の心を広げる為に

会長 武山 茂 幹事 土屋政浩 クラブ会報委員長 今田治雄
例会日 2013年3月13日 例会場 天童ホテル 通算 1334回 本年度 33回

会長挨拶 武山 茂 会長

皆さんこんにちは、本日のお客様は「天童市美術館館長」の佐藤信孝氏でございます。後ほど「天童市美術館雑感」の講話を頂きます。

三月も後半になりますと新関彌一郎 GE も本格始動を開始し始め、次年度の横尾博年度も動き出します。私の年度も締め括りに入りますが、様々の反省の中で「明日に繋げる組織作り」の会員増強だけは、しっかり成就したいと思っています。入会が7月に成っても構いませんのでご協力お願い致します。

さて本日は、素人の「芸術感」の話をして。芸術と聞くと「才能」「想像力」を思い出しますが才能は基準が無いもので簡単に自分以上の技を持つのが才能が有る人としています。大学のフォークソングクラブで、一度聞いただけで楽譜を書く友人も、お姉ちゃんピアノを傍で聞いてただけである日突然弾き出した五歳の息子も今は唯の「凡人」です。想像力も才能の範疇なのですが想像力が芸術のベースに有ると思います。また日本画家の「横山大観」は「生々流転」の後、芸術作品はテクニックのみが実現するのではなく、作者たるものの人間性が根本にあらねばならぬと言っていました。

「権力者・権威者」で、権力者から芸術を取り除いたら唯の野蛮人、権威者は地位や財産に固守してないが芸術には造詣が深い。

まために、1901年ドイツに留学していた滝廉太郎の「荒城の月」が初めて音楽会で歌われた時、幾千もの聴衆が歌詞の意味も分らぬまま涙したと言われます。

私は、理解して涙した観客の芸術感に拍手を送りたいと思います。

本日は、佐藤館長のお話楽しみです。

本日のプログラム

通常例会 卓話 「名作に会える楽しみ！」

天童市美術館 館長 佐藤 信孝 氏

二年前の4月から天童市美術館館長の仕事をしております。

天童市美術館は平成二年十月の開館以来、現在9人目の館長です。

歴代の館長は学校の校長退職者・市役所の定年退職者の方ですが、私が初の民間人であります。



なぜ天童市が自前の美術館を造る事になったのか一つに当時、天童町老野森出身の実業家・村山祐太郎氏(明治38年9月生まれ)が37歳の時に、62歳の画家・熊谷守一画伯と出会い有力なスポンサーとなり、また収集家として30年以上の付き合いを通して収集した作品、二つには中央画壇で活躍する今野忠一画伯(大正4年3月旧干布村生れ)から絵画寄贈の話が当時の鈴木雅廣市長に伝わり、収蔵庫付きの美術館建設へと進展。平成2年10月4日に県内初の公立美術館としてオープンしました。

美術館の特徴について、吉野石膏KKから寄託の日本画油絵が大小合わせて約200点と熊谷画伯の作品も190点東北芸術工科大学教授をされた今野忠一画伯の作品大中小合せ52点と、くわえて天童生まれブラジルで活躍してる83歳の彫刻家・豊田豊の作品7点、屋上野外展示など、天童市美術館では毎年二回~三回の吉野石膏コレクション日本近代絵画名作展を開催し作品のお勧めは横山大観の「大和心」、女性画壇初の文化勲章受章者・上村松園の「深雪の図」、米沢市出身福王寺宝林作「聖なる山(ヒマラヤ)」等当館の長年の願望でありました、日本美術院による春の院展を昨年6月に開催、院展は日本画では国内最高レベルの展覧会です。

これからも市美術館として有名な方々の絵画を市民の皆さんに見て頂きたい。

幹事報告 土屋 政浩 幹事

- 1.ガバナー事務所より、地区協議会のお知らせが届いております。
- 2.天童市市民プラザより、主催事業の開催についてのお願いが届いております。
- 3.公益財団法人 米山梅吉記念館より、2013年春号の会報が届いております。

出席報告 後藤 重雄 委員長

本日会員 51名(49名) 出席者 29名 出席率 60.32%
前々回出席率を、85.28%に修正致します。